

「CalPush for Web」機能仕様兼導入手順書

CalPush 機能並びに導入手順説明書

株式会社 AnchorZ

2021年9月10日

目次

1	機能概要	4
2	動作環境	4
2.1	推奨する動作環境	4
2.2	制限事項	5
3	CalPush のクラス定義	6
3.1	CalPush のカレンダー登録用基本クラス	6
3.1.1	event	6
3.1.2	event_button	6
3.1.3	event_title	6
3.1.4	event_location	6
3.1.5	event_datetime	6
3.1.6	event_remind	7
3.1.7	event_content	7
3.2	CalPush の拡張機能クラス	7
3.2.1	event_rrule	7
3.2.2	event_rrule の記載方法	8
3.2.3	event_group	8
3.2.4	calpush_event	9
4	導入手順及び導入方法	9
4.1	CalPush のアカウント発行	9
4.2	CalPush ライブラリのパス	9
4.3	CalPush のイベント情報の記載	9
4.3.1	単発イベントの登録	9
4.3.2	複数回リマインド	10
4.3.3	一括登録イベント	11
4.3.4	繰返しイベントの登録	12
4.4	CMS と CalPush の連携	12

4.4.1	CalPush の動作開始タイミング.....	12
4.4.2	CMS と CalPush の連携について.....	12

はじめに

【適用範囲】

本書は、CalPush の機能及び導入手順について示した仕様書です。

【対象読者】

CalPush のサービスを導入する関係者になります。また本書を受領時に以下の条項に同意いただいたものとします。

【仕様書内語句説明】

本仕様書内全般で使用する語句の説明を行います。

「CalPush for Web」（略称 CalPush）：CalPush とは、Web 上にあるイベント情報を専用のアプリケーションを必要とせず、CalPush により簡単にユーザーのカレンダーに登録することができる Web サービスのことです。

カレンダーへ登録：イベント情報（予定など）をユーザーのカレンダーに追加することです。

イベント：カレンダーに追加する予定（予定の題名、内容、開始時間・終了時間、場所、通知時間などの情報を含めた予定）のことです。

【不正競争防止法について】

相手に開示する情報が、事業活動に有用な技術上、営業上の情報（営業秘密）である場合、相手がその情報を使って不正に利益を得たり、開示者に害を加える目的で情報を使用することは、不正競争防止法で禁止されています。これに違反した場合は 10 年以下の懲役もしくは 2 千万円以下の罰金に処せられます（経済産業省引用）。

1 機能概要

「CalPush for Web」（カルプッシュ）とは Web サイトに表示されているイベントなどのスケジュール情報をクリック/タップするだけで、閲覧者のスマホやタブレット、PC のカレンダーに、簡単に連携できるアプリ不要の Web サービスです。

2 動作環境

2.1 推奨する動作環境

カルプッシュはブラウザで動作するイベント情報をカレンダーへ登録するサービスです。動作する OS と推奨ブラウザは下記になります。

表 2.1 カルプッシュの動作環境

	動作する OS	推奨ブラウザ
PC	Windows7 以降	Microsoft Edge, Chrome, Firefox
	MacOS X10.8 以降	Safari, Chrome, Firefox
スマートフォン	iOS8 以降	Safari
	Android4.4 以降	Chrome

表 2.2 登録するカレンダー

ブラウザ	カレンダー
MacOS の Safari	MacOS の標準カレンダーに登録します。
iOS の Safari	iOS の標準カレンダーに登録します。
Edge	Google カレンダーに登録します。
Chrome	Google カレンダーに登録します。
その他のブラウザ	Google カレンダーに登録します。

※注 1 : Google アカウントへのログイン

カレンダー登録を行う時に、Google アカウントへのログインをしていない場合、Google アカウントのログイン画面が表示され、Google アカウントへログインしてからイベントをカレンダーに登録されます。一度ログインが完了すれば以後は不要となります。

※注 2 : Google カレンダーへのアクセス許可

初めて Web から Google カレンダーにイベントの登録を行う場合、Google からカレンダーへアクセス許可を求める場合があります。この場合、下記のような画面が表示されます。この画面にある「許可」ボタンをクリックして頂きますと、イベントを Google カレンダーに登録されます。このカレンダーへのアクセス「許可」を求められるのは 1 回だけです。次回から自動的にカレンダーにイベントを登録されます。



図 2-1 Google からのカレンダーアクセス許可画面

2.2 制限事項

ブラウザによる「プライベートモード」などの制限によって、カルブッシュが動作しない場合があります。

3 CALPUSH のクラス定義

お客様の CalPush を導入するサイトの HTML に、カレンダー登録に必要なイベント情報を記載して頂く必要があります。記載できる項目は下記の項目になります。

イベントの「件名」、「場所」、「日時」（開始時間～終了時間）、「内容」と「通知時間」になります。

3.1 CALPUSH のカレンダー登録用基本クラス

イベント情報を CalPush が指定するクラス並びにルールに従って記載する必要があります。CalPush からカレンダー登録を行うための幾つかのクラスを用意しています。下記にクラスの定義並びに記載方法について記述します。

3.1.1 event

クラス名：event

記載方法：<div class="event"></div>

記載箇所：HTML 上に CalPush 登録ボタン又はリンクが配置しているところに記載します。（複数箇所の記載は可能）

記載内容と機能：

event クラスの配下に CalPush がカレンダーに登録するイベント情報を記載することになります。HTML 上に記載するクラス event をカレンダー登録する処理を行うためのクラスとして認識します。このクラスの配下にカレンダーに登録する際の必要な情報を記載することになります。

3.1.2 event_button

クラス名：event_button

記載方法：<button class="event_button">カレンダーへ登録</button>

又は：

記載箇所：クラス event の配下に記載します。

機能：

HTML 上にクラス event_button で指定されたボタン又は<a>タグをクリックすることで、カレンダー登録処理が起動し、event に記載されるイベント情報をユーザーのカレンダーに追加します。クラス event_button がクラス event の配下に記載します。

3.1.3 event_title

クラス名：event_title

記載方法：<div class="event_title">イベントのタイトル</div>

記載箇所：event_title は event クラスの配下に記載します。

記載内容：event_title クラスにイベントのタイトルを記載し、画面上に非表示に設定します。

3.1.4 event_location

クラス名：event_location

記載方法：<div class="event_location">イベントの場所</div>

記載箇所：event_location は event クラスの配下に記載します。

記載内容：event_location クラスにイベントの場所情報をこのクラスに記載し、画面上に非表示にします。

3.1.5 event_datetime

クラス名：event_datetime

記載方法：イベントの開始時間と終了時間をクラス event_datetime に下記の形式で（イベントの開始時間 ～ イベントの終了時間）記載します。記載する際に、画面上に非表示に設定します。

yyyy/mm/dd hh:mm～ yyyy/mm/dd hh:mm

<div class="event_datetime"> yyyy/mm/dd hh:mm～ yyyy/mm/dd hh:mm </div>

※注： イベントの終了時間について：

下記のようにイベントの開始時間しか記載しない場合、イベントの終了時間をデフォルトで「開始時間 + 1 時間」をイベントの終了時間として設定されます。

<div class="event_datetime"> yyyy/mm/dd hh:mm ～ </div>

なお、イベントの終了時間> イベントの開始時間にする必要があります。そうでない時に calpush は動作しません。

記載箇所：event_datetime は event クラスの配下に記載します。

記載内容：event_datetime クラスにイベントの開始時間と終了時間をクラス event_datetime に記載し、画面上に非表示にします。

3.1.6 event_remind

クラス名：event_remind

記載方法：記載方法：<div class="event_remind">通知時間</div>

通知時間はイベントの開始日時から前を持って、イベント開始日時からの差分になります。

通知（リマインド）時間の指定方法は下記ようになります。

分単位：12m ⇒ 12 分前

時間単位：3h ⇒ 3 時間前

日単位：4d ⇒ 4 日前（24 時間*4）

※通知時間の設定に複数の単位を混合して使うことはできません。

記載箇所：event_remind は event クラスの配下に記載します。（二つまで記載可能、具体的には 4.3.2 を参考してください）

記載内容：イベントの内容をクラス event_content に記載し、HTML 上に非表示に設定します。

参考の例：4.3.2 複数回リマインド

3.1.7 event_content

クラス名：event_content

記載方法：記載方法：<div class="event_content">イベントの内容をここに記載します</div>

記載箇所：event_content は event クラスの配下に記載します。

記載内容：event_content クラスにイベントの内容を記載し、HTML 上に非表示に設定します。

※注：

イベントの内容は通常のテキスト文になっていますので、改行して記載する場合通常の PC の「改行」キーで改行します。改行した後の行の先頭に HTML 上のスペースを空けないようにして頂きます。スペースを入れると、カレンダー上のイベント内容の表示には空白のスペースが表示されてしまいます。（
では改行出来ません）

3.2 CALPUSH の拡張機能クラス

3.2.1 event_rrule

event_rrule クラスは繰返しイベントの繰返しルールを設定するために利用するクラスになります。

クラス名：event_rrule

記載方法：記載方法：<div class="event_rrule">繰返しのルール</div>

繰返しのルールとは下記のように、期間と繰返しの終了日などを記載します。

例 1：毎週、月曜日、2016 年 11 月 30 日までの場合、繰返しのルールは下記になります。

<div class="event_rrule">WEEKLY;UNTIL=20161130T240000Z;BYDAY=MO</div>

※イベントの開始日時はクラス event_datetime に記載します。

例 2：毎週火曜日、全部で 10 回の場合、繰返しのルールは下記になります。

```
<div class="event_rrule">WEEKLY;COUNT=10;BYDAY=TU</div>
```

※イベントの開始日時はクラス event_datetime に記載します。

記載箇所：event_rrule は event クラスの配下に記載します。

記載内容：event_rrule クラスにイベントの繰返しルールを記載し、HTML 上に非表示に設定します。

参考の例：4.3.4 繰返しイベントの登録

3.2.2 event_rrule の記載方法

繰返しイベントの繰返しパターンについては、日毎 (DAILY)、週毎 (WEEKLY)、月毎 (MONTHLY)、年毎 (YEARLY)、日又は曜日 (MO、TU、WE、TH、FR、SA、SU) また繰返しの回数を指定して設定することができます。繰返しパターンのルールの記載方法については下表 4-1 の記載例をご参照ください。

表 4-1 繰返しパターンのルールの記載例

繰返しパターン例	繰返し頻度 DAILY/ WEEKLY/ MONTHLY/ YEARLY/	繰返し 間隔 INTERVAL	繰返し期間又は回数		日 BYDAY	月日 BYMONTHDAY	記載例
			期間	回数			
			UNTIL	COUNT			
毎日 期限なし		-	-	-	-	-	DAILY
毎日 2016年01月31日まで	DAILY	-	20160131T240000Z	-	-	-	DAILY;UNTIL=20160131T240000Z
2日ごと 全部で5回		2	-	5	-	-	DAILY;INTERVAL=2;COUNT=5
毎週 2015年12月31日まで		-	20151231T170000Z	-	-	-	WEEKLY;UNTIL=20151231T170000Z
毎週 全部で10回		-	-	10	-	-	WEEKLY;COUNT=10
毎週 日曜日 2016年01月31日まで		-	20160131T000000Z	-	SU	-	WEEKLY;UNTIL=20160131T000000Z; BYDAY=SU
毎週 火曜日 全部で10回	WEEKLY	-	-	10	TU	-	WEEKLY;COUNT=10;BYDAY=TU
毎週の火曜日と木曜日 2015年12月31日まで		-	20151231T000000Z	-	TU,TH	-	WEEKLY;UNTIL=20151231T000000Z; BYDAY=TU,TH
2週間ごと 日曜日 金曜日 2016年01月05日まで		2	20160105T060000Z	-	SU,FR	-	WEEKLY;UNTIL=20160105T060000Z; INTERVAL=2;BYDAY=SU,FR
毎月 27日 2016年03月31日まで		-	20160331T000000Z	-	-	27	MONTHLY;UNTIL=20160331T000000Z; BYMONTHDAY=27
毎月 2日、15日 全部で10回	MONTHLY	-	-	10	-	2,15	MONTHLY;COUNT=10; BYMONTHDAY=2,15
2ヶ月ごと 第4金曜日 2016年6月27日まで		2	20160627T093000Z	-	4FR	-	MONTHLY;UNTIL=20160627T093000Z; INTERVAL=2;BYDAY=4FR
毎年 2017年10月18日まで		-	20171018T110000Z	-	-	-	YEARLY;UNTIL=20171018T110000Z
2年ごと 2017年10月27日まで	YEARLY	2	20171027T123000Z	-	-	-	YEARLY;UNTIL=20171027T123000Z; INTERVAL=2
毎年 6月 7月 全部で10回		-	-	10	-	6,7	YEARLY;COUNT=10;BYMONTH=6,7

※曜日の定義：

月曜日：MO 火曜日：TU 水曜日：WE 木曜日：TH 金曜日：FR 土曜日：SA 日曜日：SU

3.2.3 event_group

event_group クラスは一括で複数の異なるイベントを同時にカレンダーに登録するためのクラスになります。

クラス名：event_group

記載方法：記載方法：<div class="event_group">一括で登録する各々のイベント情報</div>

記載箇所：event_group は event クラスの配下に記載し、一括で登録する各々のイベントにクラス event_group を記載します。

記載内容：一括で登録する各々のイベント情報をクラス event_group の配下に記載し (CalPush のカレンダー登録用基本クラスの記載方に従って記載する)、HTML 上に非表示に設定します。

参考の例：4.3.3 一括登録イベント

3.2.4 calpush_event

calpush_event クラスは HTML 上にイベントのタイトル、時間、場所、内容などを画面の決まった位置に表示される場合（テーブル形式など）、CalPush 側のカスタマイズ設定により自動的に HTML を解析し、CalPush を導入するためのクラスになります。

クラス名: calpush_event

記載方法: <table class="calpush_event">

又は: <div class="calpush_event">

記載箇所: HTML 上にテーブル形式で表示される HTML の該当箇所に記載します（導入に関する詳しい情報を弊社に別途ご相談とご連絡をお願いします）

記載内容: CalPush でカレンダー登録に必要なところに上記クラス calpush_event の記載以外の記載はありませんが、お客様の CalPush 導入サイトの構成により弊社側でカスタマイズ設定する必要があります。

4 導入手順及び導入方法

CalPush を導入する時に、お客様が CalPush を導入するサイトにお客様専用のカレンダー登録処理をするためのライブラリ (calpush.js) のパスと CalPush でカレンダー登録するための情報を HTML のタグに記載して頂く必要があります。具体的な導入手順と導入時に HTML への記載方法については下記に記述します。

4.1 CALPUSH のアカウント発行

お客様専用の CalPush アカウントを発行します。発行方法は AnchorZ または、代理店にお問い合わせください。アカウントが発行されましたら、お客様用の CalPush の Javascript のライブラリ (calpush.js) のパスが決定され、お客様の CalPush を導入するサイトに CalPush のライブラリのパスとカレンダー登録に必要な情報を記載して頂き、CalPush でカレンダー登録ができるようになります。

4.2 CALPUSH ライブラリのパス

お客様専用の CalPush のライブラリ calpush.js をお客様の CalPush 導入サイトの HTML に読み込ませて、CalPush がカレンダー登録処理を行います。CalPush ライブラリのパスは下記ようになります。

```
<script type="text/javascript" src="//calpush.addirect.promise-mail.com/XXX/calpush.js" charset="utf-8"></script>
```

※上記の XXX には、お客様に CalPush のアカウントを発行する時に、弊社からお客様に具体的な情報をお渡しします。

4.3 CALPUSH のイベント情報の記載

CalPush でカレンダー登録ボタン（又はリンク）を設定する箇所に、カレンダーに登録するイベント情報を本書の 4 章に記述する CalPush の各々のクラスに必要なイベント情報を記載する必要があります。カレンダー登録の種類により、記載方法は少し異なりますが、具体的な記載方法は下記の記載例をご参照ください。

4.3.1 単発イベントの登録

CalPush 導入するサイトの HTML に下記の情報を記載して、CalPush の導入は完了になります。

- ① お客様専用の CalPush ライブラリの JS パス

```
<script type="text/javascript" src="//calpush.addirect.promise-mail.com/XXX/calpush.js" charset="utf-8"></script>
```

※上記の **XXX** には CalPush 導入するお客様に別途記載情報をお渡します。

② カレンダー登録に必要な情報を HTML の div タグに記載する

下記のイベントを CalPush でユーザーのカレンダーに登録させる場合の記載は下記の通りになります。

例：IoT セミナーのイベント情報は下記になります。

イベントのタイトル：IoT セミナー

開催時間：2017 年 3 月 21 日 14:00～17:00 時

開催場所：幕張メッセ

イベント内容：IoT の概念から実際のデバイスを使用して IoT 的な体験まで、IoT を支える基本的な技術及びその全体像を理解でき、身近な環境の中での IoT の可能性を深めることが出来るセミナーです。

上記イベントを下記のように CalPush の該当クラスに必要な情報を記載します。

HTML 上の記載例：

```
<div class="event">
  <button class="event_button">カレンダーへ登録</button>
  <div style="display: none">
    <div class="event_title">IoT セミナー</div>
    <div class="event_location">幕張メッセ</div>
    <div class="event_datetime">2017/03/21 14:00～2017/03/21 17:00</div>
    <div class="event_remind">30m</div>
    <div class="event_content"> IoT の概念から実際のデバイスを使用して IoT 的な体験まで、
    IoT を支える基本的な技術及びその全体像を理解でき、身近な環境の中での IoT の可能性を
    深めることが出来るセミナーです。</div>
  </div>
</div>
```

上記のように情報を記載して頂けますと、お客様の CalPush 導入されるページ上に一つの CalPush のカレンダー登録ボタン（例えば、ボタン カレンダーへ登録）の配置は完了になります。このボタンをクリックすると、上記のイベント情報をユーザーのカレンダーに登録されます。なお、お客様のニーズに応じて、同じサイト（画面）に幾つでもカレンダー登録ボタンを配置することが出来ます。

4.3.2 複数回リマインド

複数回リマインドを設定する場合、リマインドの回数を指定することで、リマインドの時間を個別に設定できます。例えば、リマインドを 2 回にして、一回目はイベント開始の 2 時間前にし、二回目はイベント開始前の 30 分に設定する場合は下記のように設定します。

HTML 上の記載例：

```
<div class="event">
  <button class="event_button">カレンダーへ登録</button>
  <div style="display: none">
    <div class="event_title">PromiseMail 製品説明会</div>
    <div class="event_location">東京都千代田区岩本町 2-4-5 インスタイルスクエアビル 12F</div>
    <div class="event_datetime">2017/03/21 11:00～2017/03/28 17:00</div>
    <div class="event_remind">30m</div>
    <div class="event_remind">2h</div>
    <div class="event_content"> Promise Mail はスマートフォンで唯一カレンダーとメーカーが一体となったアプリです。メールを送受信するだけで、予定が自動的に登録される、独自の解析エンジン（PMEngine）を搭載。
    PromiseMail に関するありとあらゆる問題を出題します！
    <a href="http://anchorz.co.jp/">http://anchorz.co.jp/</a>
  </div>
</div>
```

</div>

4.3.3 一括登録イベント

一括登録は1度のカレンダー登録によって複数の異なるイベントをカレンダーに登録することができる機能です。CalPush の一括登録の導入方法について下記の二つのイベントを例にして説明します。

イベント1：

イベントのタイトル：PromiseMail 製品説明会

開催時間：2016年10月03日 16:00～18:00時

開催場所：東京都千代田区岩本町 2-4-5 インスタイルスクエアビル 12F

イベント内容：Promise Mail はスマートフォンで唯一カレンダーとメーカーが一体となったアプリ。メールを送受信するだけで、予定が自動的に登録される、独自の解析エンジン（PMEngine）を搭載。PromiseMail に関するありとあらゆる問題を出題します！

<http://anchorz.co.jp/>

イベント2：

イベントのタイトル：IoT セミナー

開催時間：2016年10月21日 14:00～17:00時

開催場所：幕張メッセ

イベント内容：IoT の概念から実際のデバイスを使用して IoT 的な体験まで、IoT を支える基本的な技術及びその全体像を理解でき、身近な環境の中での IoT の可能性を深めることが出来るセミナーです。

CalPush により1度のカレンダー登録で上記二つのイベントをカレンダーに登録するには、下記のようにイベント情報を記載します。

HTML 上の記載例：

```
<div class="event">
  <button class="event_button">カレンダーへ登録</button>
  <div class="event_group" style="display: none">
    <div class="event_title">PromiseMail 製品説明会</div>
    <div class="event_location">東京都千代田区岩本町 2-4-5 インスタイルスクエアビル 12F</div>
    <div class="event_datetime">2016/10/03 16:00～2016/10/03 18:00</div>
    <div class="event_remind">30m</div>
    <div class="event_content"> Promise Mail はスマートフォンで唯一カレンダーとメーカーが一体となったアプリ。メールを送受信するだけで、
    予定が自動的に登録される、独自の解析エンジン（PMEngine）を搭載。
    PromiseMail に関するありとあらゆる問題を出題します！
    <a href="http://anchorz.co.jp/">http://anchorz.co.jp/</a>
  </div>
  <div class="event_group" style="display: none">
    <div class="event_title">IoT セミナー</div>
    <div class="event_location">幕張メッセ</div>
    <div class="event_datetime">2016/10/21 14:00～2016/10/21 16:00</div>
    <div class="event_remind">2h</div>
    <div class="event_content"> IoT の概念から実際のデバイスを使用して IoT 的な体験まで、
    IoT を支える基本的な技術及びその全体像を理解でき、身近な環境の中での IoT の可能性を
    深めることが出来るセミナーです。 </div>
  </div>
</div>
```

4.3.4 繰返しイベントの登録

CalPush で繰返しイベント登録をご利用される場合は、そのイベントの繰返しパターンのルールをクラス event_rrule に記載して頂く必要があります。記載されるルールに基づき、カレンダーに繰返しイベントを登録されます。

HTML 上の記載例 1 :

例えば、毎週土曜日の 21 時か～22 時にドラマの放送時間をカレンダーに登録するには、下記のようにイベント情報を記載します。

```
<div class="event">
  <button class="event_button">カレンダーへ登録</button>
  <div style="display: none">
    <div class="event_title">ANZ 土曜劇場、世界一周の旅</div>
    <div class="event_location">ANZ チヤネル</div>

    <div class="event_datetime">2016/10/23 21:00～2016/10/23 22:00</div>
    <div class="event_remind">30m</div>
    <div class="event_rrule">WEEKLY;UNTIL=20161231T230000Z;BYDAY=SU</div>
    <div class="event_content"> 世界 1 周の旅をする若者達の奇遇の面白いストーリー。 </div>
  </div>
</div>
```

HTML 上の記載例 2 :

上記記載例 1 のイベント終了日時を指定せず、イベントの回数を指定することも出来ます。この例では、毎週土曜日の 21 時～22 時まで、2016 年 10 月 23 日から計 10 回カレンダーに予定を登録することができます。

```
<div class="event">
  <button class="event_button">カレンダーへ登録</button>
  <div style="display: none">
    <div class="event_title">ANZ 土曜劇場、世界一周の旅</div>
    <div class="event_location">ANZ チヤネル</div>
    <div class="event_datetime">2016/10/23 21:00～2016/10/23 22:00</div>
    <div class="event_remind">30m</div>
    <div class="event_rrule"> WEEKLY;COUNT=10;BYDAY=SU </div>
  <div class="event_content"> イベントの内容説明</div>
  </div>
</div>
```

4.4 CMS と CALPUSH の連携

4.4.1 CalPush の動作開始タイミング

CalPush が導入された Web サイトがロードされる時に、お客様用の CalPush のライブラリ (calpush.js) はロードされます。Web ページのロードが完了すると、そのページに配置されている CalPush のカレンダー登録ボタン又はリンクに記載されるイベント情報に基づいてカレンダー登録するための前処理を行います。

4.4.2 CMS と CalPush の連携について

CalPush が Web サイトのロードを完了すると、カレンダー登録するための前処理を行うため、CMS により Web ページを生成するタイミングで CalPush のカレンダー登録を行える該当箇所にカレンダー登録に必要な情報を CalPush が定義するクラスの記載方法に基づいて記載して頂く必要があります。

CMS により Web ページのロードが終わると、CalPush のカレンダー登録の前処理が実行され、ユーザーがカレンダー登録ボタン又はリンクをクリックすると、前処理の結果により、カレンダー登録処理を行います。

カレンダーへ登録する情報の変更・更新は Web ページが再度ロードされるまで変更又は更新されません。